

地域クラブ活動体制整備等事業

【目的】子どもたちの多様な活動機会の確保と学校の働き方改革を実現する <地域移行体制構築と部活動指導員配置の両輪による改革>

現状と課題

- 府として令和5年度から令和7年度末までを改革推進期間として位置づけ、**休日**の部活動から段階的に地域移行していく（令和5年5月に設置した「大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議」での協議を踏まえ、8月に府方針として決定）

①【地域移行】移行体制構築支援

【国庫委託事業】(国10/10)

- 地域移行実証事業(前身事業会)
- R5: 豊中・箕面・守口・大東・泉大津・岸和田市
- R4: 箕面・守口市
- R3: 島本町、守口市
- R2: 島本町



【国庫補助事業】(国1/3府1/3市1/3)

- 方針策定・体制構築等に係る協議会開催
- R5: 箕面市、高槻市、守口市、枚方市、藤井寺市

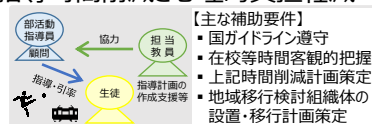
②【地域連携】部活動指導員配置支援

【国庫補助事業】(国1/3府1/3市1/3)

- 実技指導や学校外での活動への引率
- ・生徒の活動機会の保障や地域移行に備える
- ・教員の部活動指導時間削減と心理的負担軽減

<配置支援実績>

- R5: 23市町/232人
- R4: 19市町/135人
- R3: 18市町/114人
- R2: 15市町/94人
- R1: 12市町/68人



課題

【令和5年度 部活動実態調査より】

- ◆ 部活動設置部数：4,649部（顧問：10,451人）
- ◆ うち専門的指導可能教員割合：約49.8%（5,214人）

【検討会議での委員意見】

- ◆ 財源と適した人材確保、府としての広域的な整備を求む

【市町村の状況】

- ◆ 受け皿となる団体と人材が不足（質の保障含めて）

事業内容

① 地域移行に向けた実証事業（国庫委託事業）(国10/10 ※一部ゆめ基金)

- 市町村における部活動の地域移行に向けた実証事業を展開し、事業成果の普及から府内全域の取組みに生かす。（府方針P12）

＜市町村の取組み＞ 体制整備、指導者の質・量の確保、関係団体等との連携強化、面的・広域的な取組み、内容の充実、参加費用負担支援、学校施設活用 等

＜大阪府の取組み＞ 検討会議(年3回予定)、進捗状況確認、成果発表会(年度末)、指導者の質の向上(研修動画コンテンツ作成等)、広報活動(府民向け案内)、富田林中における取組み

- 指導者の発掘・把握から、市町村の求めに応じた指導者の紹介・地域クラブ活動の運営団体等による指導者の配置支援を実現する。（府方針P8）

＜大阪府の取組み＞【人材バンクの設置】指導者の量の確保、円滑なマッチングシステムの構築、指導者の質の向上に資する仕組みづくり

② 部活動指導員の配置支援（国庫補助事業）(国1/3府1/3市1/3)

教員に代わり指導を担う部活動指導員の配置支援から、生徒のニーズを踏まえた活動の保障や地域移行に向けた地域連携を促進する。（府方針P11）

【令和6年度 優先的配分基準】

- ◆ 地域移行に向けた取組み状況
域内実態把握調査、地域移行説明会・研修会の開催、協議会の開催、地域移行に向けた方針策定、国事業の実施状況等
- ◆ 時間外在校等時間の削減状況

効果

- 円滑な地域移行・地域連携を後押しすることにより、子どもたちが将来にわたり多様なスポーツ・文化芸術活動ができる機会の確保につながる。
- 教員の部活動指導時間の削減と心理的負担の軽減により、働き方改革の推進につながる。

【令和6年度】大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議について



メンバー

- ✓有識者
(大学、弁護士会)
- ✓市町村教育委員会
(都市教育長協議会、町村教育長会)
- ✓学校・団体関係者
(公立中学校長会、府立学校長協会、中体連、高体連、PTA協議会、スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会)

検討事項

1. 取組みの進捗状況の把握及びこれまでの施策の効果に関すること
2. 新たな施策に関すること
3. 次年度の方向性に関すること
4. 好事例の普及方策に関すること
5. その他

委員

有識者 (2名)	中尾 豊喜	大阪体育大学スポーツ科学部 特任教授
	坂 房和	大阪弁護士会スポーツ・エンターテインメント法実務研究会 弁護士
市町村教育委員会 (2名)	田淵 和明	大阪府都市教育長協議会 副会長
	古橋 重和	大阪府町村教育長会 会長
学校・団体関係者 (7名)	松下 孝徳	大阪府公立中学校長会 会計監査
	寺本 圭一	大阪府立学校長協会 会長
	田中 節	大阪中学校体育連盟 会長
	溝端 茂樹	大阪高等学校体育連盟 会長
	溝尻 真吾	大阪府PTA協議会 副会長
	松本 恭幸	公益財団法人大阪府スポーツ協会 専務理事兼事務局長
	齊喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会 会長

開催日程等

- ① 令和6年6月27日
検討事項1・2について
- ② 令和6年9月or10月
検討事項3について
- ③ 令和7年1月or2月
検討事項4について

計3回開催予定

※ 第2回では検討事項2に関する進捗状況を、第3回では大阪府部活動の在り方に関する研修会及びスポーツ庁・文化庁実証事業に取り組む市の事例発表を含めて実施予定

指導者の確保や質の保証に向けて

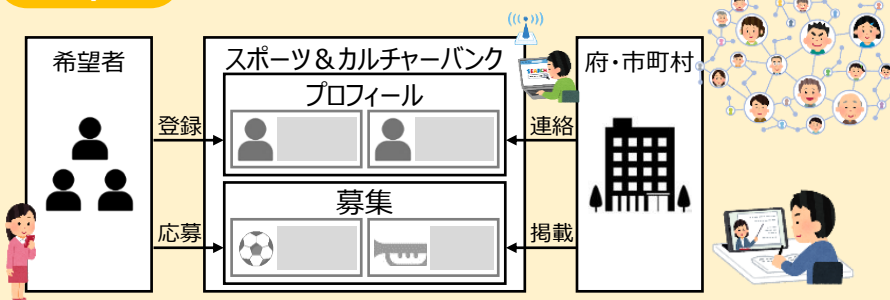


【人材バンク】大阪府スポーツ&カルチャーバンク（仮称）について

コンセプト

『部活動指導員』および『地域クラブ活動指導者・サポート団体』の発掘・把握から、市町村の求めに応じた人材・団体の紹介による学校部活動の地域連携・休日の地域移行への支援を実現するプラットフォームを構築する

4つのpoint



- 1 スマホで簡単** 【指導者の量を確保】
直感的に登録できる導線・デザインによる気軽に登録できる仕組み
- 2 スピードマッチ** 【円滑なマッチング】
応募+スカウトの双方向マッチング、ピックアップ・DM機能を搭載
- 3 スキルアップ** 【指導者の質の向上】
動画コンテンツによる任用前研修や任用後のフォローアップ体制
- 4 コラボレーション** 【企業等との接続】
賛同企業や大学を種目ごとにリストで掲載、大型マッチングを支援

Point 1 スマホで簡単 【指導者の量を確保】

Point 2 スピードマッチ 【円滑なマッチング】

Point 3 スキルアップ 【指導者の質の向上】

動画視聴による通信講座機能を搭載
(搭載予定動画コンテンツ)
制度の概要、活動の意義・位置づけ、服務、
発達段階に応じた指導方法、情報共有、
安全・障害予防、引率、生徒指導対応、
事故対応、配慮を要する生徒への対応、
保護者対応、管理運営 等

Point 4 コラボレーション 【企業等との接続】

持続可能なスポーツ・
文化芸術環境の構築
等に賛同・協力いただ
ける企業等を、対応
可能種目ごとにリスト
で紹介
※市町村等の単位で
一括募集する場合を想定

【人材バンク】大阪府スポーツ&カルチャーバンク（仮称）のPoint 1・2について

Point 1

スマホで簡単【指導者の量を確保】

プロフィールを登録

気になる求人に応募

IMAGE バンクに訪れた方が、気軽に・直感的に登録が進められる設計

【登録項目】基本情報、指導可能種目・分野、種目・分野経歴、保有指導者資格、指導経験、指導可能地域・期間 etc
【本登録後】指導可能地域や種目・分野等より求人情報の検索が可能

The registration process consists of four steps: 1. New registration (新規登録) with a welcome message and terms. 2. Skills and conditions (スキル・条件) where users select sports and regions. 3. Profile (プロフィール) where users enter personal details like name, gender, and education. 4. A motivational message: '気になる求人に応募してみよう' (Apply to jobs you're interested in). To the right is a sample '登録後のマイページ' (My page after registration) for a user named 田中 葵 (Tanaka Aoi), showing their profile, skills (Soccer, Basketball, Cultural Activities), and a calendar for available dates.

Point 2

スピードマッチ【円滑なマッチング】

希望する活動を検索

求人情報登録からスカウト

相互に連絡が可能な
ダイレクトメッセージ機能

《バンク外》
面接・採用へ

IMAGE 希望する活動への応募や登録者へのスカウトがダイレクトに実施できる設計

指導者 【求人情報検索】登録したプロフィールに合った求人情報をピックアップ表示

バンク内でのダイレクトメッセージによる、指導者と自治体・地域クラブ間の相互連絡が可能

自治体 【自治体求人情報登録】募集する求人の情報登録、条件に合致する人材のピックアップ表示
地域クラブ (募集情報) 種目・分野、活動場所・頻度・人数・方針、従事内容、必要資格、報酬 etc

【指導者】求人情報のピックアップ表示

The screenshot shows a list of recommended applicants for a soccer coach position at '大阪府大阪市エリア 中学校 サッカー 男子' (Osaka Prefecture Osaka City Area Middle School Soccer Men's). Two applicants are listed, both with a recruitment count of 1. Each entry includes a brief description of the role and the school's location.

【自治体・地域クラブ】求人情報の登録

The screenshot shows the registration form for a recruitment position at '大阪府大阪市エリア 中学校 サッカー 男子' (Osaka Prefecture Osaka City Area Middle School Soccer Men's). It includes details like '募集人数: 2名' (2 recruits), '勤務地' (Osaka Prefecture Osaka City Abeno Ward), and a '勤務時間' (working hours) table. The table shows availability for Monday, Wednesday, and Friday mornings, and Tuesday, Thursday, and Saturday afternoons.

【指導者 ⇄ 自治体・地域クラブ】ダイレクトメッセージ

The screenshot shows a direct messaging interface between a coach and a school. It includes a search bar, a list of candidates (12 in total), and a chat window. The chat shows a message from the school: '学校側があなたとの面談を希望しています。以下の候補の中から都合の付く日を教えてください。' (We would like to have an interview with you. Please let us know which of the following candidates is convenient for you.)

【人材バンク】大阪府スポーツ&カルチャーバンク（仮称）のPoint 3・4について

Point 3

スキルアップ【指導者の質の向上】

 **いつでもどこでも受講可能**

 **指導にあたって必要となる知識を習得**

MENU

部活動指導員および地域クラブ指導者向けのコンテンツをそれぞれ用意

共通

- ① 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- ② 部活動を担当する教員等との情報共有
- ③ 安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- ④ 学校外での活動(大会・練習試合等)の引率
- ⑤ 事故が発生した場合の現場対応
- ⑥ 配慮を要する生徒などへの対応
- ⑦ 生徒指導に係る対応（体罰・ハラスメント等）
- ⑧ 保護者等への対応
- ⑨ コンプライアンスとリスクマネジメント
- ⑩ スポーツカウンセリング
- ⑪ コーチング

部活動指導員

- ⑫ 部活動指導員制度の概要(身分、職務、勤務形態、報酬、災害補償等)
- ⑬ 学校教育及び学習指導要領
- ⑭ 部活動の意義及び位置づけ
- ⑮ 服務(校長の監督を受けること、信用失墜行為の禁止等)
- ⑯ 部活動の管理運営(会計管理等)

地域クラブ活動指導者

- ⑰ 地域クラブ活動の意義及び位置づけ
- ⑱ 地域クラブ活動の管理運営(会計管理等)

4 質の高い指導をみんなに



Point 4

コラボレーション【企業等との接続】

 **域内の複数校への対応に**

 **体験型イベント等の企画に**

 **集合型研修会へのサポート**



MENU

企業や大学における対応可能種目等をそれぞれリストにて紹介

A：運営団体・実施主体として

各地域クラブ活動を統括する運営団体や、個別の地域クラブ活動を実際に行う実施主体の担い手として

B：特定種目への指導者派遣として

陸上競技やサッカー等の指定する種目で、域内の複数校における地域移行を進めるために必要となる複数の指導者の確保として

C：体験型イベント等のサポートとして

複数の活動を同時に体験することを含め、生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツ・文化芸術に親しむ機会づくりの企画・運営のサポートとして

D：集合型研修会へのサポートとして

更なる指導者の質の向上に向けて、特定の種目等における最新の指導法等を習得するための集合型研修会を一括開催するためのサポートとして

17 ハートナッシュアップで目標を達成しよう



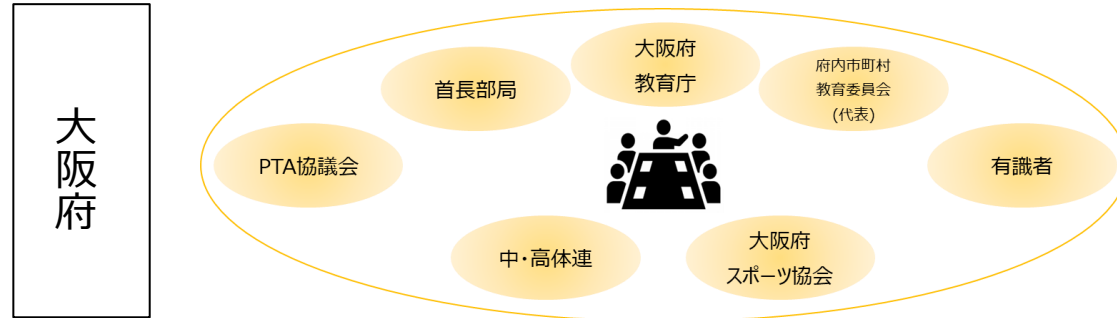
【令和6年度】運動部活動の地域移行に向けた取り組み状況について

大阪府

【地域移行の推進に向けた体制整備の取り組み概要】

- 令和5年度に設置をした検討会議を継続して開催し、大阪府内の取り組み状況の検証や好事例の普及方策を検討する。
- 府内全域での活用が可能で、広域的な人材の確保とその人材を育成する仕組みとなる新たな人材バンクの構築を行うことで、地域連携・地域移行に取り組む市町村を支援する。
- 大阪府立中学校における生徒の潜在的なニーズの把握や対応を進めるべく、体験教室を開催し、今後の活動機会の確保につなげる。
- 実証事業実施市により得られた成果と課題を広く域内で共有する。

（運営体制図）



大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議

- 取り組み状況の検証・新たな施策等に向けた協議
- 実証事業における取り組みへの指導助言・成果の普及

府立富田林中学校

- 府立富田林高等学校野球部OB会を運営団体・実施主体とした地域クラブ活動の実現に向けた体験教室の開催

業務委託

実証事業実施市

【継続市】

- | | |
|------|---|
| 豊中市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市ラグビーユニオン・剣道クラブと業務連携 ● 計2中学校、2部活動を地域移行 |
| 箕面市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業と業務連携(再委託) ● 計8中学校、8部活動を地域移行 |
| 守口市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市スポーツ協会・リトルFC・コスモスポーツクラブ(株)と業務連携 ● 計5中学校、11部活動を地域移行 |
| 大東市 | <ul style="list-style-type: none"> ● (株)ユーフォルア・近隣高校・大学と業務連携(再委託含) ● 計8中学校、16部活動を地域移行 |
| 岸和田市 | <ul style="list-style-type: none"> ● FC岸和田・市スポーツ協会・市スポーツ推進委員協議会・大学と業務連携(再委託含) ● 計1中学校、1部活動を地域移行 |

【新規市】

- | | |
|------|--|
| 池田市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 計9団体と業務連携(再委託) ● 計5中学校、33部活動を地域移行 |
| 枚方市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業と業務連携(再委託) ● 計1中学校、3部活動を地域移行 |
| 門真市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 計5団体と業務連携 ● 計4中学校、6部活動を地域移行 |
| 八尾市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業と業務連携(再委託) ● 計5中学校、5部活動を地域移行 |
| 泉大津市 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合型地域スポーツクラブOZUSポと業務連携(再委託) ● 計3中学校、2部活動を地域移行 |

※今後、内容が変更される場合があります。

● 内容の充実

・生徒の多様なニーズに応じた取組みとして、生徒の志向や体力等の状況に適した野球に親しむ機会の確保に取り組む

【地域クラブ活動】富中野球クラブ（仮称）

✓ 【体験教室】潜在的な野球ニーズへの対応



【学校概要】

- 明治34年(1901年)に大阪府第八中学校として開校(同年6月に大阪府立富田林中学校と改称)
- 120年の歴史と伝統のもと、さらなる発展を願い、平成29年4月に大阪府立として初の中高一貫校となる
- 府内全域から入学志願が可能(本人及び保護者の住所が府内にある者)

【中学校設置部活動(運動部)】

男子バスケットボール、男子ソフトテニス、女子バレーボール、バトントワリング、サッカー、女子硬式テニス、陸上競技

◀(参考) 高等学校設置部活動(運動部)▶

サッカー、硬式野球、陸上競技、硬式テニス、ソフトテニス、男子ハンドボール、女子ハンドボール、ラグビーフットボール、水泳、男子バレーボール、女子バレーボール、バドミントン、男子バスケットボール、女子バスケットボール、剣道、卓球

【背景】

- 中学校・高等学校ともに設置している部活動については、共同体制にて運営・活動
- 野球をしたいと考えている生徒は一定数存在していると考えられるものの、中学校では設置していない状況がある

潜在的ニーズへの対応&活動機会の確保策として

富中野球クラブ(仮称)の設置に向けて



◀活動場所(使用許可)▶

大阪府立 富田林中学校

【体験教室運営】富田林高等学校野球部OB会

- 地域クラブ活動として令和7年度以降の自立的な常設をめざす
- 中学校在籍生徒のニーズの把握をはじめ、運営団体としての適切な規模や持続的に活動することを前提とした収支構造の検証等を事前に行うために、まずは体験教室として休日に計11回開催予定
- 併せて、富田林中・高等学校在籍教員で休日の地域クラブ活動に従事することを希望する教員の把握・兼職兼業について検証

【体験教室開催】

5月～3月(休日)の計11回(募集:校内チラシ等にて周知) ※1回あたりの活動時間は3時間まで(府方針遵守)

【運営団体検証】

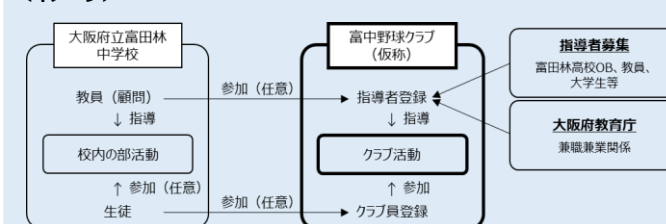
生徒のニーズ、OB会(運営組織の確立)、大学生等を含めた地域クラブ活動の指導者確保方策

【収支構造検証】

◀収入▶参加者(生徒)数等に基づく適正な受益者負担額の算出

◀支出▶事務局運営・年間活動回数・活動範囲等を含めた持続可能な活動の展開に必要な経費の算出

<イメージ>

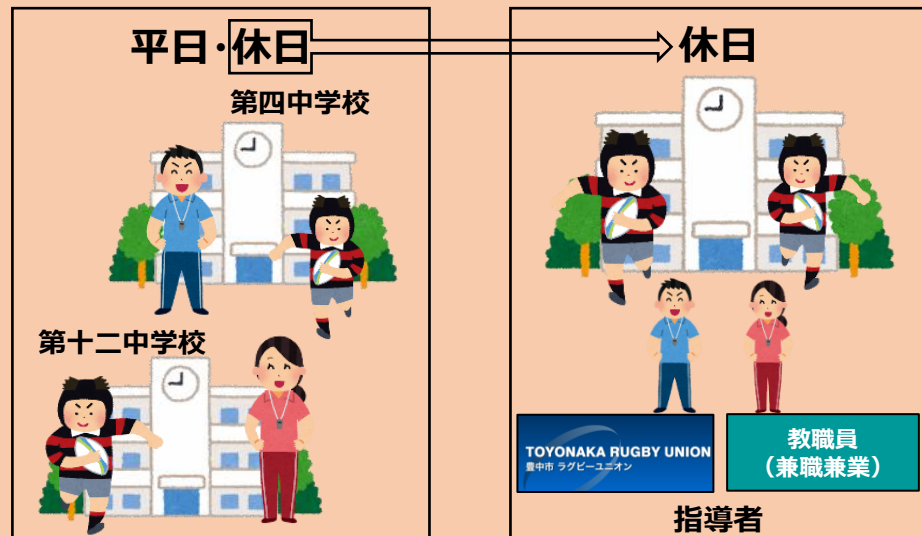


※今後、内容が変更される場合があります。

- 地域団体との連携を強化し、休日の部活動の地域移行を進める。
- 教職員の兼業兼職や保護者負担等の課題整理及び解消を進める。

合同ラグビー部×豊中市ラグビーユニオン

☑ 合同ラグビー部の休日活動の地域移行



【活動概要】

- 平日はラグビー部のある学校のみ単独で活動
- 休日は拠点校（第十二中学校）で専門的指導のできる指導者の下、活動

【背景】

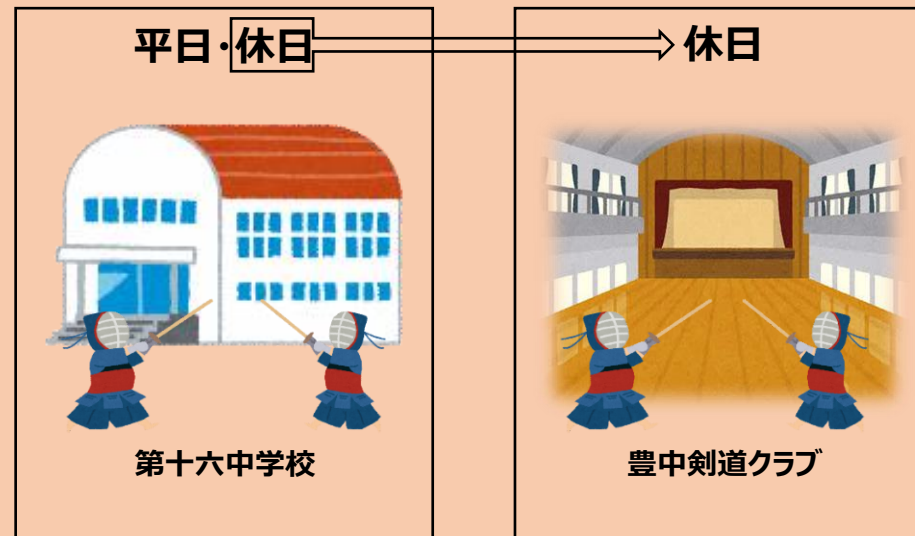
- ラグビー部のある学校には専門的な指導をできる顧問がいない
- 地域にラグビーユニオンという団体があり、ラグビーを指導できる人材がいる

豊中市ラグビーユニオンについて

- 地域におけるラグビーの普及と振興を目的に設立された団体
- 豊中ラグビースクール等の団体が加盟しており、幼年から高齢者まで多世代のラグーマンが在籍
- 令和5年度同事業から指導者派遣型体験会や市主催ラグビー体験会に指導者を派遣しラグビー部の地域移行へ協力

十六中学校×豊中剣道クラブ

☑ 剣道部の休日活動の地域移行



【活動概要】

- 平日は第十六中学校で単独で活動
- 休日は豊中剣道クラブとして活動

【背景】

- 専門的な指導のできる顧問がおらず、剣道部の廃部・縮小が増加
- 豊中剣道クラブは2015年に発足以来、多くの中学生を受け入れてきた。

豊中剣道クラブについて

- 剣道を通じた人間形成（中学生の健全育成）を目的に設立された団体
- 剣道部の所属に関わらず市内の中学生が剣道クラブに所属
- 現在は主に武道館ひびきにて活動
- 令和6年度より地域クラブとして大阪中体連の大会に参加予定

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 将来の完全地域移行を見据えて、部活動の受け皿となる地域クラブを拡充する
- 「協議会」を設置し、地域移行の方針を策定する



池田市の背景及び取組み方針

【背景】

- 5中学校あり、運動部は56部活動が設置されているが、少子化が進んでおり、今後、現状の部活動を維持することが困難になると予想される。
- 教員の意識調査では、地域移行に対する賛意が8割、顧問に就きたくないという回答が6割。
- 部活動を指導する人材の確保が困難。
- 本市は比較的市域が狭いことに加え、すでに中学生を対象とした地域クラブがあった。

【取組み方針】

このまま部活動を学校で維持し続けるのは困難であるため、部活動の受け皿となる地域クラブを育成し、生徒が地域クラブでスポーツ活動を行う方向で制度設計を進める。

取組み内容①地域クラブの拡充

【活動実績・概要】

- ・週2回（平日1回・休日1回）の夜間に活動枠を設け、スポーツクラブの運営を委託する
- ・場所は学校の体育館で行うが、鍵の開け閉め等の施設管理は受託者で行う
- ・受託者は参加者の受付や保険加入などの事務も行う
- ※学校の部活動は並行して行われている

<令和4年度>

- 地域クラブ活動を2団体へ委託
 - ・NPO法人OctJapan（バスケットボール）
 - ・バレーボール協会



<令和5年度>

- 地域クラブ活動を5団体へ委託
令和4年度実施2団体 +
- ・池田市剣道協会
- ・池田市卓球協会
- ・(一財)みどりスポーツ財団（ダンス）

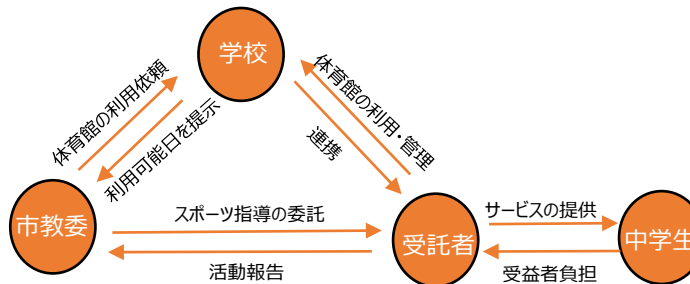


【課題】

- ・平日の学校における部活動と地域クラブ活動の在り方の整理が必要
- ・受益者負担は必須⇒保護者の理解が不可欠
- ・屋外の活動場所の確保が難しい（特に冬季）

【活動・団体運営のポイント】

- ①「特色あるカリキュラムで、中学生は誰でも参加」
 - ・本市の中学生がだれでも楽しく参加できるスポーツ活動を前提に設計
- ②「持続可能な地域クラブ団体の運営」
 - ・将来的な自立自走を目的として、ヒト・モノ・カネを自主管理（6年度より一部受益者負担）
 - ・事故防止の徹底、体罰・ハラスメント根絶の取組み
 - ・学校教育活動ではなく、社会教育活動・生涯スポーツの一環として活動



<令和6年度>

- 地域クラブ活動を9団体へ委託
令和5年度実施5団体 + 4団体を公募予定

取組み内容②地域移行方針の策定について

【活動概要】

- ・「協議会」を設置し本市の地域移行の方針を策定する
想定参加メンバー
教育委員会／中学校・小学校／地域クラブ／PTAなど

【活動経歴】

<令和5年度> 中学校・市教委・地域クラブで意見交換を行う連絡会を組織。
課題を話し合い、地域移行に関する大まかな方針を作成



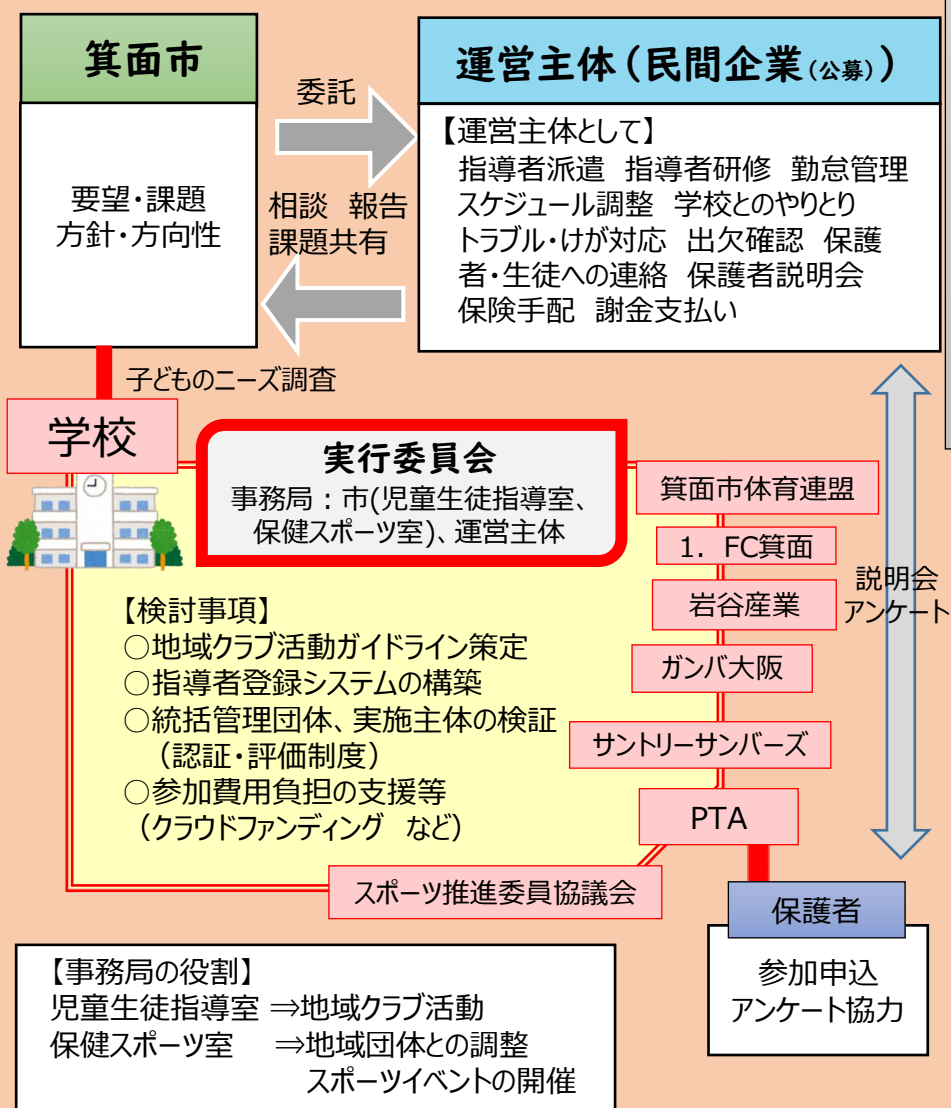
【協議事項（案）】

- ・現行の部活動の取り扱いについて、廃止も視野に入れた議論。
- ・地域クラブがどれだけ確保できるのか。それぞれの競技の設置クラブ数の検討。
教員が地域に出て指導する際の兼業兼職の取り扱いについて（現状は個別対応）
- ・受益者負担の設定について、目安の共有。
- ・中体連などの大会参加について検討。
- ・活動場所の調整方法について、特にグラウンドで実施する競技について検討。

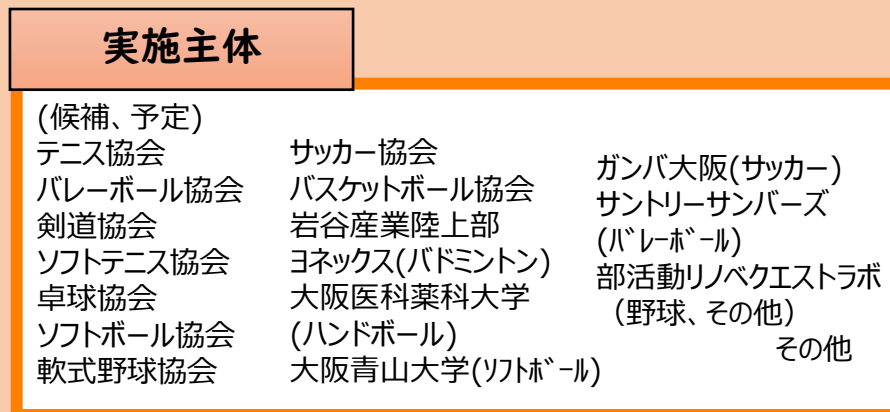
- 運営団体・実施主体が運営管理を担うための持続可能な環境整備
- 子どもたちの活動機会の確保



実行委員会における検討及び運営体制整備



市域内全8中学校における地域クラブ活動の実施



令和5年度

市域内全8中学校で実証事業を展開

休日に実施している全競技を体育連盟・民間企業と数回ずつ実施

令和6年度

引き続き市域内全8中学校で実証事業を展開

大会引率を含めた休日の地域クラブ活動を体育連盟・民間企業と実施(予定)、多くの競技で休日の全活動の地域移行に向けて検証



※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

守口市(継続)

令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業

- 地域人材を確保・マッチングする仕組みの構築
- 生徒・教師にとって望ましい持続可能な運営団体の確保



八雲・第一 × リトルFC

✓ サッカー部における休日の地域移行(継続)



【活動概要】

- 両校とも平日は学校部活動を継続
- 休日を地域スポーツ活動としてリトルFCへ移行・活動は八雲中グラウンドにて合同実施

【背景】

- 両校ともサッカー指導可能教員の確保難
- 両校とも教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
- 八雲中は、近年生徒数の減少が顕著で、部活動の数や種目を縮小しているところであった

休日の部活動の運営組織

リトルFC
創部：1987年
スポーツ少年団

- 休日の指導(運営・計画等)を担う
- 今後は平日の外部指導者としての指導者派遣や、教員の兼職兼業先として検討中
- 学校施設の利用を地域部活動の運営費に還元する取組みを検討

リトルFCについて

- 守口市で活動する幼児・小学生を対象としたサッカーチーム・市内幼稚園・保育園へのサッカー巡回指導も実施
- 指導者はJFA公認ライセンス等を保有

さつき学園・第一・錦・樟風 × 守口市スポーツ協会 コスモスポーツクラブ

✓ ソフトテニス・バスケットボール部(継続&拡充@コスモ)と卓球部(拡充@市スポーツ協会)における休日の地域移行



【活動概要】

- 全校で平日は学校部活動を継続
- 休日を地域スポーツ活動としてスポーツ協会やコスモへ移行・活動はさつき学園体育館等にて合同実施

休日の部活動の運営組織

守口市スポーツ協会
MORIGUCHI SPORTS
設立：2000年
特定非営利活動法人

- 約4千名の会員、21競技団体に構成
- 本事業の拡充にあたり、参加団体の協力等を打診中

休日の部活動の運営組織

コスモスポーツクラブ
設立：1972年
幼児活動研究会株式会社

- 指導者は所属社員
- 休日の指導(運営・計画等)を担う
- 学校施設の利用を地域部活動の運営費に還元する取組みを検討

【背景】

- 全校で複数部活動において指導可能教員の確保難
- 全校で教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
- さつき学園は、部活動指導を理由に後期課程の校内人事がしづらい状況がある

特定非営利活動法人 守口市スポーツ協会の参加団体(競技名)について

- 軟式野球、ソフトボール、バドミントン、バレーボール、サッカー、テニス、ソフトテニス、卓球、インディアカ、グラウンドゴルフ、太極拳、クレー射撃、剣道、トランポリン、相撲、柔道、少林寺、フルコンタクト空手、バスケットボール、セーフティー空手道、ウォータースポーツ

幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブについて

- 全国の幼稚園・保育園と、そこに通う児童を対象とする仕事を基幹事業とする会社
- 保育時間内の体育指導のほか、サッカー、新体操などの課外指導も行っている
- 指導者は当該種目の経験者(中には国体出場経験者あり)

守口市地域運動部活動推進事業における 部活動検討委員会



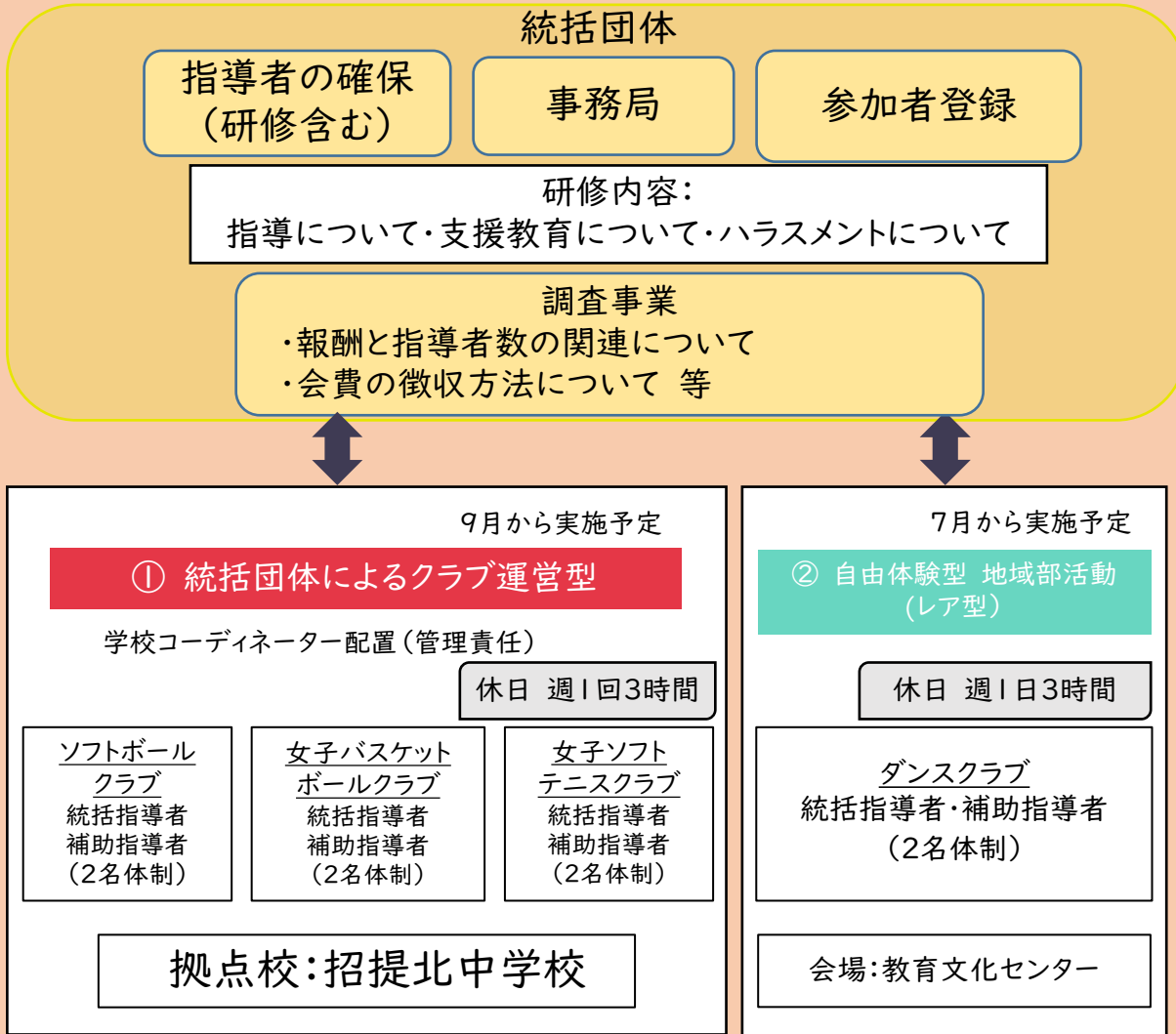
市部活動検討委員会
設置：2022年～

- 地域部活動の円滑な運営に向けた体制整備
- 学校-運営団体間の連携調整
- 地域部活動の方針等の策定 など

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 生徒・教師にとって望ましい持続可能な運営団体の確保
- 生徒にとって望ましい学校外での体験機会の確保

ひらかたモデル策定に向けた試行実施



めざす姿

- 少子化の中でも、将来にわたり、枚方市子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保
- 地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、子どもたちの多様な体験機会を確保

事業を通して解決すべき課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策 (教員の兼職兼業含む)
- (2) スポーツ施設の確保方策
- (3) 会費の在り方
- (4) 保険の在り方
- (5) 保護者・地域への周知方法について
- (6) 部活動に係る備品について
- (7) 新たな課題検証

枚方市中学校部活動の在り方懇話会

中学校部活動又は地域におけるスポーツ若しくは文化芸術活動の関係者の意見を聴取する。

年5回開催

6月

8月

10月

12月

2月

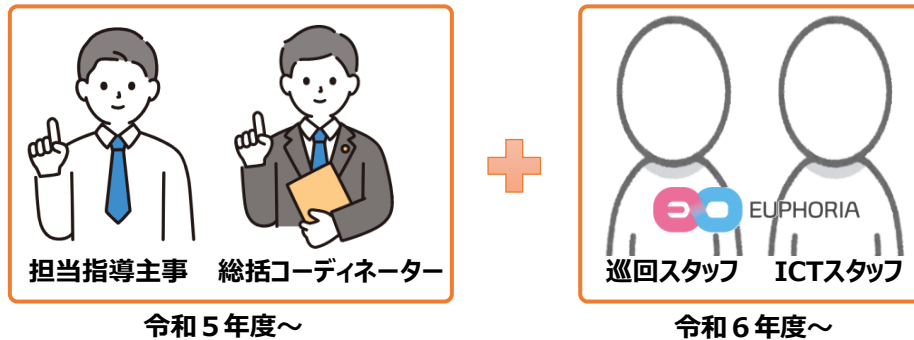
※今後、内容が変更される場合があります。

- 持続的かつ安定的な運営事務局体制の構築
- 生徒一人ひとりの多様なニーズに応じた活動機会の提供



「大東市部活動地域移行運営事務局」の開設

事務局長機能の充実と安定化(拡充)



【活動概要】

- 担当指導主事と総括コーディネーターは運営事務局の総括、市立中学校(校長会)との連絡・調整、「部活動地域移行に係る意見交換会」(協議会)の開催等、今後の方向性を含めたシステムの構築やスキームの策定を担当
- 巡回スタッフとICTスタッフ(新規)は活動現場における情報収集(生徒・保護者・指導者)、連絡アプリの運用、広報活動等、現在の活動の円滑な運営に係る業務を担当

【背景】

- 移行競技種目数の増加に伴う事務業務量の増大
- 今後の地域移行に関する丁寧なヒアリング・意見調整にかかる時間と労力の増加
- 生徒・保護者へのきめ細やかサポート体制の充実

「大東市部活動地域移行運営事務局」の主な業務について

- 担当指導主事：運営事務局の総括、実証事業に係る業務、学校関係者や利害関係者との調整 等
- 総括コーディネーター：指導者の任用・研修、各種会議の企画・運営、学校関係者や利害関係者との調整 等
- 巡回スタッフ：休日の地域部活動の視察、生徒・保護者・指導者からのヒアリング 等
- ICTスタッフ：連絡アプリの運用、広報活動 等

三クラブ三様な取組み—剣道・水泳・バスケットボール

剣道部(継続)と水泳部(拡充)における休日の地域移行バスケットボールスクール(拡充)の新設



【活動概要】

- 全校で平日は学校部活動を継続
- 令和5年度より剣道部の休日部活動を地域へ移行、東西4校ずつ2チームを編成
- 令和6年度より水泳部の休日部活動を地域へ移行、学校施設や近隣の水泳施設を利活用した活動を実施
- 令和6年度よりバスケットボールスクールを新設、市内府立高校を活動場所とし、市内にある大学から指導者を派遣

【背景】

- 子どもたちの多様なニーズに応えた部活動の在り方の模索の必要性
- 専門的に指導できる顧問教員の不足、教員の負担軽減(剣道部・水泳部)
- 中体連主催大会参加のみを希望する生徒の受け皿の確保(水泳部)
- 学校に当該部活動がない生徒に対する受け皿、部活動を通じた地域の活性化(バスケットボールスクール)

「三クラブ三様」—その1
大会出場を目的とする
地域クラブ活動
(剣道部の移行)

「三クラブ三様」—その2
大会出場とレクリエーション
を兼備した地域クラブ活動
(水泳部の移行)

「三クラブ三様」—その3
レクリエーションや個人のスキルアップ活動
(バスケットボールスクール)

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 地域の実情に応じた多様な地域クラブ活動のモデルの構築
- 指導者の質の保障、適切な指導の実施、指導者の質の確保に関する方策の検証



第四中学校×門真市の地域活動団体

運動部活動における休日の地域移行（モデル校区を設定し休日の地域移行を段階的に推進）



【活動概要】

- 平日は学校部活動を継続
- 休日を地域スポーツ活動として段階的に移行
 - ・基本的に会場はモデル校となる第四中学校を使用

【背景】

- 教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
- どの中学校でも生徒数・教員数の減少が大きく、部活動の維持が困難
- 専門的な指導が行える部活動顧問も少なく、大会等での審判などが精神的負担となっている。

関係協力団体

門真市軟式野球連盟

門真市に在住・在職している社会人を中心として、軟式野球を通じて地域社会やメンバーの親睦とアマチュアスポーツの健全、発展を図ることをも苦役に活動している。

クラブチーム「クローバー歯科」

日本卓球リーグ実業団連盟に所属するクラブチーム。
令和4年度には全日本実業団卓球選手権を制覇するなど、積極的に活動している。

バドミントン教室「Y・Bears」

初級者から中級者の大人対象のバドミントン教室であり、実業団や全国大会などで活躍した経験豊富なコーチが指導を行っている。

「子どものバスケ教室 コドバス」

バスケットボール大好き芸人田村裕さんプロデュースのバスケットボールスクール。バスケットボールを通してのスポーツの楽しさ、努力の大切さ、礼儀礼節など、様々なことも教えてくれる団体。

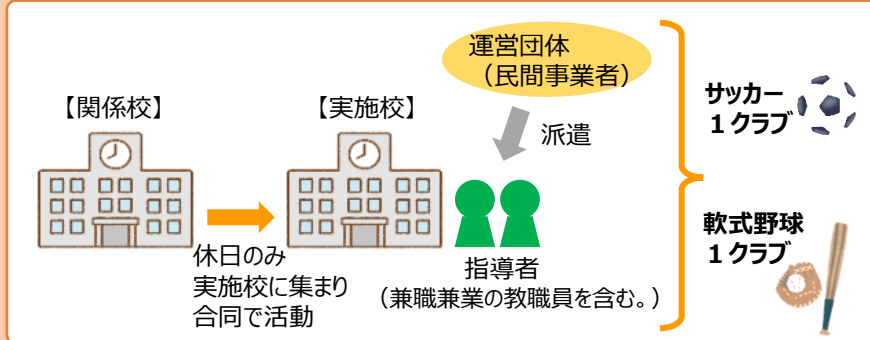
門真はすねクラブ

門真市初の「総合型地域スポーツクラブ」として設立され、子どもから高齢者に対して、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツ活動に参加できる環境をめざし、健康で活力ある地域づくりに寄与することを目的とする。

その他 連携が必要な活動団体

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

◆合同チームをベースとした休日の地域移行の検証



【活動概要】

- 1つの学校に集まり合同で活動しているサッカーと軟式野球で、1クラブずつ実施
- 平日は、学校部活動を継続し、休日は、指導者2名を配置のうえ、学校管理外の地域クラブ活動として実施
- 実証事業を実施する学校において、休日の指導も希望する教職員は、兼職兼業の許可を得たうえで、運営団体となる民間事業者の管理下で、報酬を受けて指導に従事

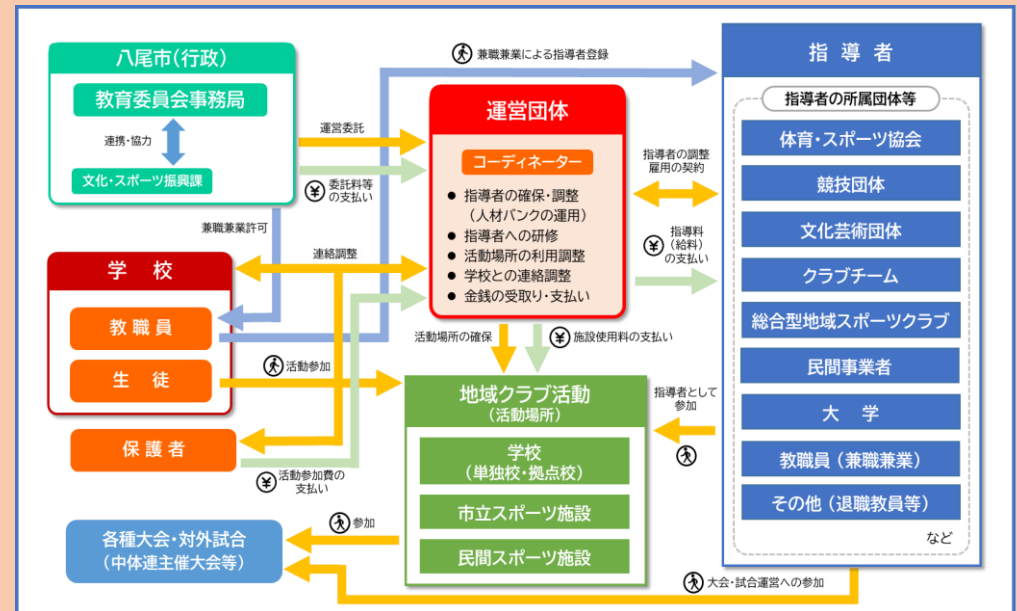
【背景】

- 少子化による影響として、既に、運動部において単独校ではチームが組めない状況が生じている。
- 生徒のニーズとの乖離として、生徒が望む種目をすべて設置できてはいない。
- 教職員の負担と指導者の不足として、指導に関わることを負担と感じている教職員が8割程度存在することや指導者数が不足している。

◆運営団体の整備に向けた検討及び多様な人材を受け入れるための仕組みづくりの検討

- 将来的な運営団体の設置と自走化に向けた持続可能な運営体制の検討
- 地域の人材の活用や大学等とも連携を図りつつ、個々の活動の状況に応じて適切な指導者を安定的に配置できるよう、多様な人材を受け入れるための仕組みづくりの検討

将来的な運営体制のイメージ (案)



検証・検討内容

- 活動日の課題検証 (休日における環境整備に向けてモデル事業を実施し、平日実施の課題も抽出・検討)
- 教職員 (顧問) と指導者との連携や指導の役割分担の検証
- 教職員の兼職兼業の運用についての検証
- 運営団体の整備に向けた検討
- 多様な人材を受け入れるための仕組みづくりの検討
- 事業費についての検討 (事業費の試算、受益者負担をはじめとした財源確保策の検討) など

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 学校部活動にはない地域クラブ活動の実施
- 地域クラブ活動の自立・持続的運営方策の検証

(地域における現状・課題)

- ① 運動部活動の顧問について、なり手不足や技術指導できる人材不足及び多忙化の問題
- ② 部活動未加入者など、運動機会の少ない生徒を対象にした運動機会の増加を図る必要性
- ③ 既存部活動の合同部活動実施に向けて、市内中学校の現状や大会出場資格などに合わせた仕組みを構築する必要
- ④ 地域スポーツとして活動した場合の財政基盤、活動場所等を構築する必要性

(取組概要)

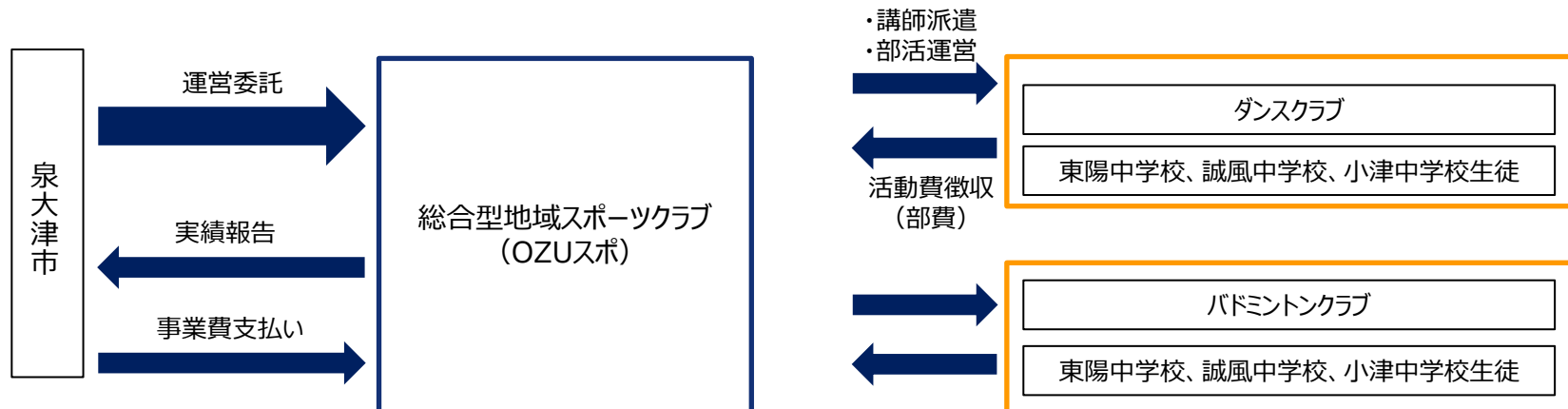
実施校：東陽中学校、誠風中学校、小津中学校
 活動場所：旭小学校体育館、泉大津市立総合体育館、ほか
 指導者：総合型地域スポーツクラブ（OZUSポ）指導者、派遣講師
 移動手段：徒歩、自転車

活動種目：ダンス、バドミントン
 部費：月1,000円
 保険：年800円

(実証事業において取り扱う観点)

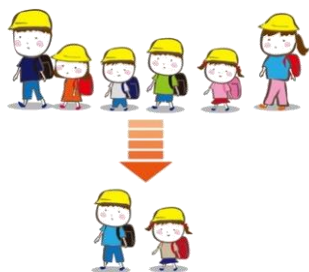
- 地域のスポーツクラブが持続的に活動することを前提とした仕組みづくりとして、受益者負担や行政による公的支援等を行うことによって推進させる仕組みづくりの構築検討や取組等の状況を把握するとともに、必要な指導助言を行う。
- 将来的な枠組みや支援方策の検討等を視野に入れて、地域クラブ活動の運営や指導者配置等に必要なコストを検証するとともに、こうしたコストをどのように賄っていくかについて受益者負担等と公的資金との適切なバランスも含めて収支構造を検証していく。

(運営体制図)



- 指導者の質の保障、適切な指導の実施、指導者の質の確保に関する方策の検証
- 地域クラブ活動を支える人材育成や仕組みの構築

課題 ①



人口減少に伴い、中学校の生徒数・部活動数も減少し、1中学校単位での試合出場が困難。

課題 ②



地域クラブ活動実施にあたり、地域に配置する指導者が不足。

令和5年度実証事業の課題



部活動顧問の先生

前年度の実証事業において、指導者派遣から地域クラブ活動への移行を試みたが、顧問の先生から、トラブル対応等に不安があり、学校からの切り離しがうまくできなかった。

任せられない！
フェードアウト
できない！

指導者派遣から地域移行



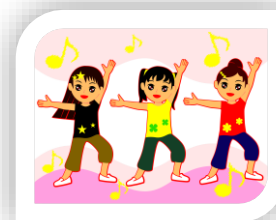
令和6年度取組概要

芸能部(ダンス)における休日の地域移行(拡充)



桜台中学校

S54.9.26創立



特定非営利活動法人
FC岸和田

H14年設立
H15.3.12NPO法人格取得
理事長 河内 賢一

地域クラブ活動関係者間の情報共有を図る



部活動顧問の先生

情報共有を密に

- ・指導方針の打合せ
- ・平日と休日のバトンタッチ
- ・トラブルの未然防止
- ・トラブル対応の伝授 etc



指導者
FC岸和田

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。



【概要】民間企業が管理運営を行う地域クラブ活動に移行するため、文化芸術に関する「吹奏楽部」及び、「ダンス部」の2つの文化部について、地域移行に向けたモデル実証事業を実施する。

課題①

【子ども】

- ・参加したいクラブがない
- ・専門的な指導を受けたい



【教師】

- ・時間外勤務による負担
- ・技術的な指導の問題
- ・教員の人事異動により継続的な指導が困難

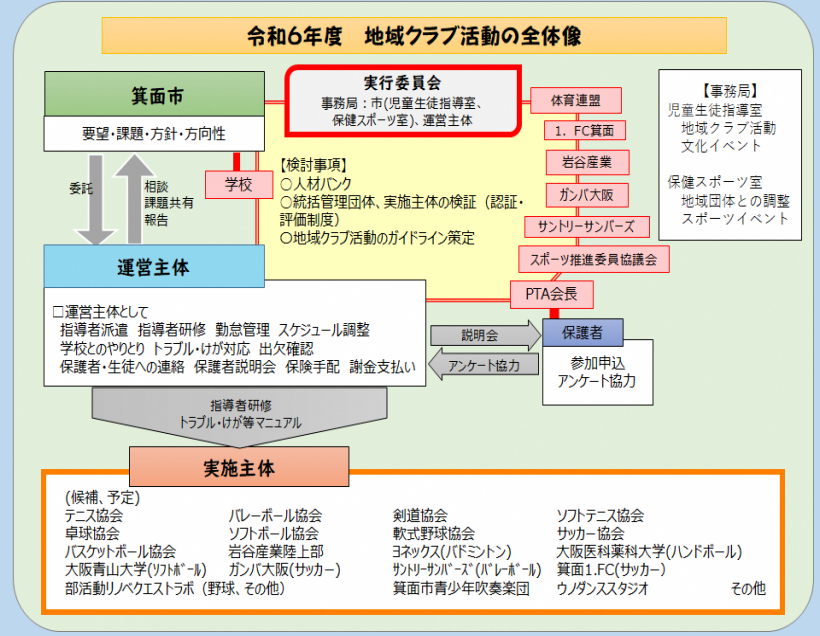
課題②

【実施上の課題】

- ・実施主体の確保
- ・人材の確保
- ・指導者との連絡調整
- ・子どものニーズ調査
- ・持続可能な統括管理団体
- ・高校、大学、地域との連携



地域クラブ活動実施体制



2つの文化部にてモデル実施



箕面高等学校と
合同練習

吹奏楽



(連携先：箕面市青少年吹奏楽団)

ダンス



(連携先：ウノダンススタジオ)

取組方針・取組概要

- ・運営主体を民間企業に委託して文化芸術クラブの運営管理の検証を実施
- ・地域クラブ活動についてのホームページ作成
- ・指導者の人材バンクを構築し、指導者を確保
- ・参加者負担を含めた資金調達方法の検討



【概要】市内全8中学校の希望生徒に対し、休日のみ2週間に1回(3時間)程度、地域人材を活用した「メディア部」及び、将棋やけん玉などの日本の伝統文化に取り組む「Cool Japan Club」の2つの文化部について、地域移行に向けた実証事業を実施する。

課題①



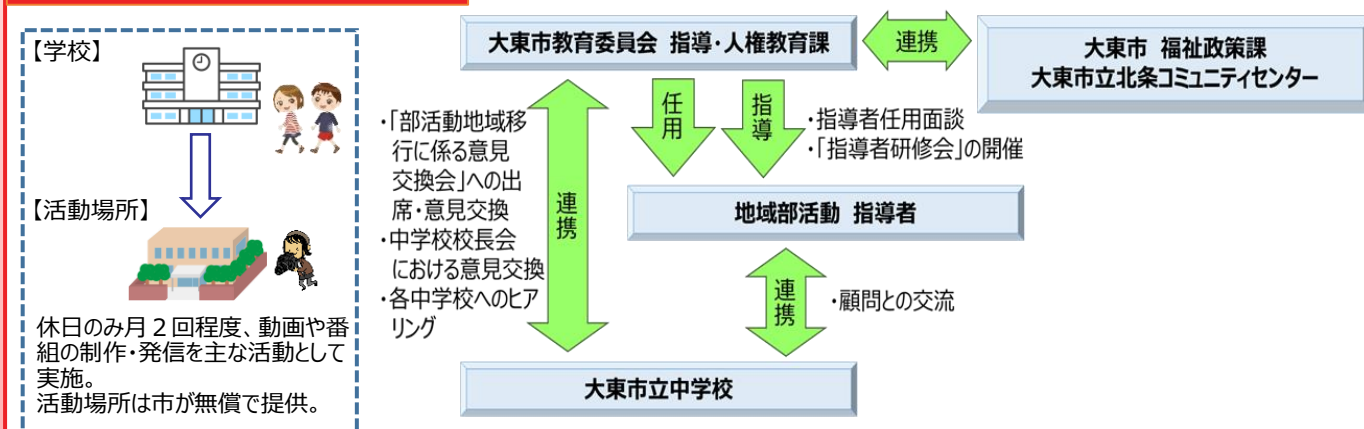
年度途中で指導者が辞職したり、新たな指導者を任用したりするケースが複数回あり、安定した指導体制を構築することが困難であった。

課題②



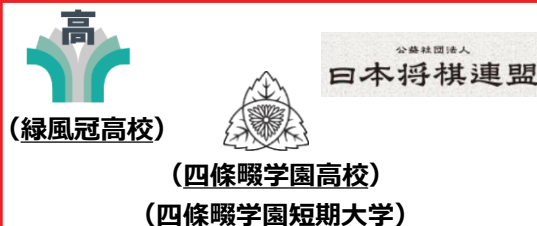
運営事務局体制の構築についての課題がある。

取組内容



- ・ICTを活用し、指導者同士、指導者と生徒とのコミュニケーションをDX化し、円滑な連絡体制を構築。
- ・近隣の高校、日本将棋連盟関西本部など関係団体と連携し指導者の確保に努める。
- ・巡回スタッフの増員により、活動状況の視察や意見聴取の実施など、運営事務局機能の充実を図る。
- ・活動場所及び付属設備を市の協力で無料借用し、継続的な活動場所を確保。
- ・人材バンクを活用するとともに、指導者は学生時代に声優を専門的に学んだ方や、地域人材や将棋・けん玉の有段者を任用する。

連携先



<行事等を通じた連携・交流を図る>

- ・中学生が考えた企画を高校生が実践
- ・高校生とのコラボレーション動画制作
- ・大学部活動との共同企画制作 等

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 生徒・教師にとって望ましい休日における部活動指導の地域移行をめざす

【概要】 門真市民文化会館「ルミエールホール」の指定管理者であるトイボックスと委託契約を締結し、門真市吹奏楽団や、関西フィルハーモニー管弦楽団に講師を依頼し本格的な指導を受けられる体制を整える。

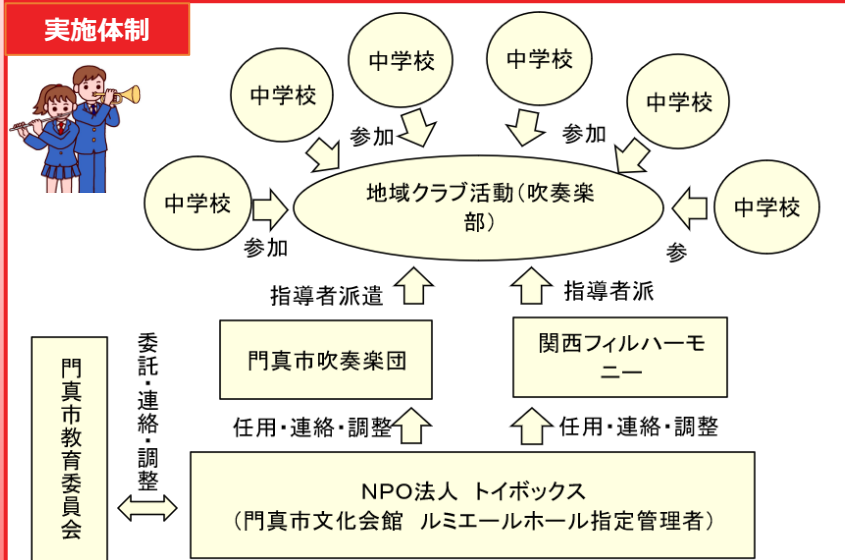
背景

- 生徒数の減少に伴い教職員数も減少し、吹奏楽部は6中学校のうち、3中学校のみとなっている。
- 部活動指導の専門性に関する課題等も大きくなっている。
- 顧問をすることに重荷を感じている教員も少なからずいる。

取組方針

- 市内全中学校生徒を対象に、吹奏楽部の休日の地域移行をめざす。
- 平日には運動部に所属する生徒が、休日には文化芸術活動に参加できるような、複数分野への参加やインクルーシブな活動を実施。
- 所属中学校の部活動の有無にかかわらず、休日に専門的な指導を受ける機会の確保。

実施体制



【課題】

- ・指導者や練習場所の確保
- ・活動場所までの移動に関する保険加入事務手続き
- ・大型楽器の搬送
- ・受益者負担
- ・協賛企業
- ・指導者と日時等の調整
- ・持続可能な運営方法の検討 など



連携先



(関西フィルハーモニー管弦楽団)

(門真市民吹奏楽団)

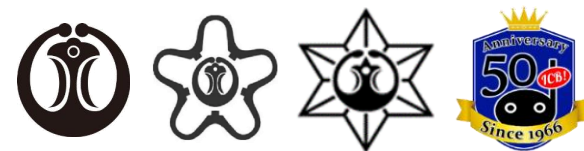


検証・検討内容

- 実証事業に参加する生徒・保護者へのアンケート実施による事業に対する肯定的回答の割合
- 実証開始以前と実証開始後の部活動顧問の時間外在校時間の減少
- 地域の力を活用し、持続可能な指導体制の構築し、教職員の負担軽減につながるか検証 など

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- こどもたちの多様な経験・機会確保
- 部活動に係る教職員の負担軽減



【概要】部活動（吹奏楽部）を民間団体に委託し、子どもにとってよりよい形での地域移行をめざす。
また、指導者の資質向上や受益者負担についても検討し、双方の責任を明確にする管理運営の在り方を検証する。

課題①

(指導や練習の在り方)



指導や練習の在り方について、保護者や教員への説明や共有が必要。

課題②

(指導者の技術力向上)



指導者が研修会に参加するなど、技術力向上のための方策が必要。

課題③



公費を含めた費用負担について検討が必要。

取組概要

【泉大津市教育委員会】



- ・学校と吹奏楽団との連絡調整
(活動場所・使用物品・活動日程 等)
- ・実施における課題や検討事項の整理
- ・公費を含めた費用負担の検討

【誠風・小津中学校】



- ・使用物品の確認



- ・活動場所の提供



- ・生徒、保護者への連絡
- ・費用負担

【泉大津市吹奏楽団】



- (事務局)
 - ・市との連絡調整
- (指導者)
 - ・指導者の派遣

実証事業で把握した課題や成果を市内で共有し、市内他2中学校でも地域移行を推進する。